様式 2

あかしSDGsパートナーズ取組計画書

明石市長 様

あかしSDGsパートナーズの取組計画を以下のとおり提出します。

(記入日)2022年 6 月 17 日

団　体　名	明石浦漁業協同組合	T　E　L	078-912-1771
代 表 者 名	戎本　裕明	メールアドレス	doi@akashiura.or.jp

目指すゴール【複数選択可】※ゴール下の枠をチェックしてください									
	1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう
	□	□	□	□	□	□	□	□	□
	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナーシップで目標を達成しよう	
	□	✓	✓	□	✓	□	□	✓	□

2030 年までに達成したいこと	今まで利用されていなかった水産資源を活用して、商品開発をすることで廃棄物を削減する。減少している海洋資源の回復を目指すため、海の中の栄養分を増やすための活動を行い、豊かな海を取り戻す。

重点的な取組（※）

【取組①】

●取組の趣旨・目的

水産物の下処理の際に出る内臓や骨、市場価値の低い水産物は、廃棄物となっていた。これらを有効活用することで廃棄物を減らし、減少している海洋資源の有効活用を行う。

●具体的な取組内容

大学等研究機関・加工業者・飲食店などと連携・協力して、内臓を使った魚醤、骨を使った商品、市場価値の低い小さな魚を使った缶詰などの商品開発をし、明石土産の創出を行う。

目標値 / 達成年

商品の完成
5 商品／2030 年

該当するゴール

12 つくる責任 つかう責任
14 海の豊かさを守ろう
17 パートナーシップで目標を達成しよう

【取組②】

●取組の趣旨・目的

資源量の減少の理由は、海中の栄養分が不足していることだと言われている。不足している栄養分を回復するといわれる取り組みを実施し、その効果を検証する。

●具体的な取組内容

定期的に海底耕耘や施肥を実施し、その前後の海中の様子を確認して有効性の検証を行う。また、その内容を動画撮影し、取り組みの様子や成果を一般に公開する。

※海底耕耘とは海底を耕すことで窒素やリンを放出し、生物が生息しやすい環境を作るために行う。

目標値 / 達成年

動画の公開
5 作品／2030 年

該当するゴール

11 住み続けられるまちづくりを
12 つくる責任 つかう責任
14 海の豊かさを守ろう
17 パートナーシップで目標を達成しよう